

# 公営企業会計 の決算状況

## ●公営企業会計

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引額	
水道事業会計	収益的収入および支出	2,027,786	1,901,769	126,017
	資本的収入および支出	152,033	1,059,701	-907,668
市営宿舍事業会計	収益的収入および支出	27,409	40,632	-13,223
	資本的収入および支出	0	1,990	-1,990

**水道事業会計**

民間の企業会計のように利用料金などの収益で運営する公営企業会計は、水道事業会計と市営宿舍事業会計の2つの会計があります。

市民の皆さんが普段使用する水道を扱う水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

収益的収支は、水道水を供給するための管理・運営に関する経費と財源です。主な収入が水

### 水道事業会計



道料金で、総額は20億2778万6千円となりました。支出については主に水道施設の修繕費で、支出総額は19億176万9千円となりました。これにより23年度の純利益は1億1256万4千円の黒字となります。黒字分は建設改良積立金として積み立て、水道施設を新しくするために活用します。

資本的収支は水道施設を建設・改良するための経費と財源です。主な収入は、下水道工事に伴う水道管布設替工事の負担

### 市営宿舍事業会計

市営宿舍事業会計は、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額199万円を、過年度分損益勘定留保資金189万5000円および消費税資本的収支調整額9万5000円で補てんしています。



# 特別会計 の決算状況

## ●特別会計 (認定となったもの)

(単位：千円)

会計	歳入	歳出	差引
同和地区住宅新築資金等貸付事業	2,168	2,140	27
国民健康保険	9,800,664	9,623,164	177,500
後期高齢者医療	831,781	819,698	12,083
介護保険	7,139,234	7,091,431	47,802
上川手山林財産区	3,699	1,710	1,988
北の沢山林財産区	436	268	167
有明山林財産区	1,173	234	938
富士尾沢山林財産区	893	113	780
穂高山林財産区	860	104	755
産業団地造成事業	99,647	99,413	234

## ●特別会計 (不認定となったもの)

(単位：千円)

会計	歳入	歳出	差引
下水道事業	4,467,711	4,458,039	9,672
農業集落排水事業	186,692	186,000	691

### 各特別会計が黒字に

一般会計とは別に独立して経理を行う特別会計では、各会計とも赤字の決算がなく、黒字決算となりました。

### 下水道事業特別会計等2会計が不認定に

**監査委員決算審査指摘事項**

下水道特別会計については、決算審査時、監査委員から次のような指摘がありました。

① 下水道事業受益者負担金の収

入未済額が3億1279万8千円、区域外流入負担金の収入未済額が1630万円と多額であること

② 財産調査・差押執行等により収入未済額を減少させ、消滅時効を防ぎ、案件によっては、法令等にとつて不納欠損処理等を慎重かつ厳正に行うこと

### 議会決算報告

本年9月定例議会では、市が提出した決算報告のうち下水道事業特別会計および農業集落排水

水事業特別会計の2つの特別会計決算について、「不認定」とされました。

今回、議会建設水道委員会が2つの会計を不認定とした理由、指摘事項は次のとおりです。

① 受益者負担金の収入未済額が、年々累積し過去最大になっているが、何年たっても改善されていないこと

② 滞納繰越分のうち、消滅時効等により不納欠損処理すべき額が5186万円生じているが、今まで一度も不納欠損処理をしていないこと

③ 管理回収体制の抜本的改革による再発防止に努め、市民の不公平感を取り除く手だてを講じること

### 未収金減少に向け 収納体制を強化

こうした指摘を真摯に受け止めて、市では10月から市税以外の料金・使用料についても収納体制強化を一層図り、未収金の縮減に向けて努めています。